



# 上毛新聞

## 電子速報



男子個人決勝 矢を放つ古川高晴＝ローズ・クリケット場

# 古川

# 銀

## アーチェリー男子個人

ロンドン五輪第8日の3日、アーチェリー男子個人を行い、日本勢でた

だ1人勝ち残っていた古川高晴(近大職)が決勝で呉真憐(韓国)に敗れ、銀メダルとなった。同種目の日本勢のメダル獲得は、2004年アテネ五



輪で銀メダルに輝いた山本博(日体大教)以来。日本アーチェリー史上初の

## メダル決め白い歯

準決勝は延長戦となり、先に中心の10点に矢を刺して相手を待ったアーチェリーの古川高晴。相手の矢が9点に刺さり勝利した瞬間、白い歯を見せ、両手で何度もガッツポーズした。銅メダルを手中にした女子団体の快進撃に乗り、3度目の五輪で銀メダルを獲得した。

メダルを懸けた準決勝の試合会場に、サングラスをしてやや緊張した面持ちで入場した古川。名前がコールされると照れたように右手を挙げて歓声に応えた。

古川が臨時職員を務める近畿大では、本部キャンパス(大阪府東大阪市)でパブリックビューイングを実施。ベスト4進出が決まると、約80人がパソコンから映像を転送した大モニターの前で「わあっ」と歓声を上げた。古川の同僚、大治教子さん(40)は「すごくうれしい。力を出し切ってほしい」と話した。

試合は延長戦にもつれこむ一進一退の熱戦。的の10点の部分に矢が刺さると、コーチとハイタッチして自らを鼓舞した。青森県に住む古川の兄の広平さん(29)は電話取材に「高校に入ってから

金メダルはならなかった。古川は3回戦、準決勝とも6-2で勝ってベスト4に進んだ。準決勝ではファンデルフェン(オランダ)をシュートオフの末に破り、銀メダル以上を確定させた。

古川 高晴(ふるかわ たかはる、近大職)アーチェリー男子個人)初出場のアテネで22位。団体では8位入賞。北京では33位に終わった。近大出。174センチ、84キロ。27歳。青森県出身。